

第1回認知症施策推進会議認知症当事者部会でいただいた主なご意見

議題	意見
東京都の認知症施策	・診断後支援が重要。受けられるサービス、支援機関・相談先を知らせ、当事者が引き続き社会とつながることができるようにすることが必要 ・若年性認知症総合支援センターが少ない。2か所だけで遠方の人には行けなくなると、本旨とは違うのではないか。
日頃の生活で困ること	・認知症になると、一人で部屋にいることが増える。集まる場所を提供していただくことが大切 ・自治体によっては、集まる場所に行くために移動の支援があるが、自治体による支援の差が大きい。重要な支援において、ばらつきが出るのは非常に残念
地域社会に必要なこと (認知症のある人へ声を掛けやすくする仕組等)	・ヘルプマークに独自にアレンジを加えて困りごとが伝わるように工夫している。 ・各自治体の様々な取組は、当事者にとって選択肢があってよい。 ・赤いヘルプマークだと認知症とは分からないため、オレンジ色にすると分かりやすい。 ・見守りのためのマークも、当事者にとっては、見張られてしまう存在になるという寂しさもあるので、「あなたは大切な人だから持ってほしい」というメッセージを込めることが大切

第1回認知症施策推進会議認知症当事者部会でいただいた主なご意見

議題	意見
挑戦してみたいこと、諦めてしまっていること	・子供の頃から車が好きだったが認知症になったら運転はできない。その寂しさから、今は歩くことに熱中している。 ・車の運転をやめ、「過去運転免許を持っていた」というカードをもらった。今は徒歩とバスと電車で移動しているが、この状態が嫌ではない。
パンフレット	・暗いイメージになりかねない色遣いを避けてほしい。 ・現行版はアルツハイマー型のパンフレットになっている。認知症の種類ごとの特徴を分かりやすく示してほしい。 ・予防について、「世間に迷惑をかけるから予防しよう」という考えが根底にあるようで怖い。予防しなかった人が認知症になるという誤解を招くような表現は避けるべき。
ポータルサイト	・写真やイラストがトップページにあるとよい。 ・「東京都は絶対に認知症のある人を取り残しません」というメッセージを最初に入れるとよいのではないかな。